



公演・コンサート

スポーツ

教室・講座

健康

生涯学習

その他イベント

HOME > ふれあいコラム > 落語家 古今亭志ん輔さん

ふれあいコラム

▶▶ バックナンバー

今、話題の人物をクローズアップ！

2014年2月号 2014年2月号 シェイクスピアのロマンス劇を新作落語の名調子で

落語家 古今亭志ん輔さん

もしもシェイクスピアが江戸時代に生まれていたら？ そんな想像力を刺激する、古今亭志ん輔さんのシェイクスピア落語も今年で15周年。折しもシェイクスピア生誕450年の今年4月、赤坂区民センターで、ロマンス劇『シンペリン』を翻案した『八丁櫓』を聞かせてくれます。始めたきっかけや思いを伺いました。

——シェイクスピアと落語…。一見、かけ離れているように思いますが。

もともと私は得意じゃなかったんですよ、シェイクスピアとかクラシックとか歌舞伎とか。でも、食わず嫌いや失礼でしょ？それで最初に歌舞伎を見たら、物事をちゃんとわかりやすく伝えているんですよ。歌舞伎って良いもんだな、シェイクスピアも良いかしら、と思っていたら舞台を紹介してくれる人が現れた。見てみると、敵討ちだの色恋沙汰だの、歌舞伎みたいな話もあって、自分が勝手に難しいって思い込んでただけなんですね。それで、偶然会った知り合いの舞台監督に、話をしたんです。シェイクスピアの『リア王』は、3人の娘の誰に国を継がせるかという話。これってケチンボな親父が3人の息子の誰に身代を譲るか質問する古典落語の『片棒』と一緒に、と。そしたら「シェイクスピアを落語に置き換えてグローブ座でやってみない？」って話になった。悩んだけどやるなら最初は誰でも知ってる『ペニスの商人』。江戸時代の商人だから紀伊國屋文左衛門、裁判なら桜吹雪の遠山の金さんを出してもいいかなーと。舞台監督が「続けましよう」と言うから「何年続かわかりませんが」と返したら「シェイクスピアは47作あります」とグローブ座の支配人に言われ、今回で15作目。場所は変わって、赤坂区民センターになりましたが、毎年1作、新作をやっております。今回の『シンペリン』は、リア王に似てるところもある、娘の結婚にいろいろ言いたい親の心子知らずというお話です。

——シェイクスピア落語のきっかけとなった『片棒』も聞けるんですね。

『片棒』には特別な思い出もあるんですよ。師匠の前座を務めていた頃、師匠が「あれはねお前、売りモンになるかもしれないね」って言ってくれて。嬉しかったですねえ。何十年もやっていなかったんですが、今回また新鮮な気持ちで語ります。

——クラシックでも活躍されてますね。

これまた不思議な縁で、何も知らないのにラジオ番組や、新日本フィルハーモニー交響楽団の演奏会の司会をやらせていただいて。そうしたことって必要だと思うんですよ。何年も同じ世界で呼吸していると、一人で掘る井戸のように狭くて浅いものになっちゃう。違う世界を教えてもらおうと、共感したり、自分も納得して語れるでしょ。人にちゃんと伝えるには、そうした経験や気持ちが大事。ナマの高座は、手を叩けば振動が伝わる、空気を共有する場。失敗したのも伝わっちゃうけど（笑）、ぜひ「赤坂青山寄席」にも、来ていただきたいですね。

『赤坂青山寄席』のチケットを販売しています。詳しくは「[イベント・チケット情報](#)」をご覧ください。

は
あ
た
し
落
語

「銀座・赤坂・六本木」と言えば皆のあこがれだった、と志ん輔さん。港区には「もっともっと大人の街として、凜（りん）とした雰囲気を持ってもらいたいな」と思っているそうです。



■プロフィール

1953年東京生まれ。72年に3代目故古今亭志ん朝に入門。85年真打に昇進し「古今亭志ん輔」襲名。82年から99年までNHK『おかあさんといっしょ』にレギュラー出演。新日本フィルハーモニー交響楽団のファミリーコンサート出演など活動は多彩。落語協会理事。

<http://www.0874sinsuke.com/>

▲このページのトップへ



このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。当財団の許可なく複製、転載は出来ません。